

## 「あしべつネイチャークラブ」初開催。初回テーマは「化石発掘体験」



6月25日、市内で自然体験活動を行う「あしべつネイチャークラブ」が芦別川上流で「化石発掘体験」をテーマに初めて開催されました。

同クラブは、芦別の自然を身近に体験する活動から、その魅力を発信していくことを目指して、芦別市林業振興協議会の主催により行われた

もので、今後も毎月1回の開催が予定されています。

好天に恵まれた当日は10人の市民らが参加。芦別の自然に精通する講師の仲鉢隆さんと新村充さんによる指導の中、アンモナイトの化石が発掘されると、参加者は驚きながら楽しそうな笑顔を見せていました。

## 消防演習実施、幼稚園児も大きな声で火の用心

7月2日、消防職員と各地区の消防団員合わせて134人、車両12台で消防演習が一番街通りと消防総合庁舎で実施されました。

一番街通りでは、分列行進の前に、芦別みどり幼稚園幼年消防クラブの年長・年中の約55人が行進に参加しました。園児らはお揃いの法被を着用し、沿道の市民に対して防火標

語「火の用心、マッチ一本火事の元、火遊びは絶対にしません、火事のない街をみんなで作りましょう」と声を合わせて呼びかけ、沿道の市民を楽しませていました。

その後、消防総合庁舎車庫前に移動し、総監荻原市長の観閲を受け、小型ポンプ操法や放水訓練「一斉放水」が行われました。



## 若さあふれる「芦高祭アトラクション」



第74回芦別高校学校祭が7月7日から2日間にわたり開催されました。

今年のテーマは「Let's have youth!～青春をしよう!」。8日は、市役所前でクラスアトラクションが行われ、1年生から3年生までの全6クラスが出演。生徒たちは色とりどりの仮装に身を包み、ナレーションや

セリフで物語を紡ぎながら若さと躍動感あふれる踊りを披露しました。

アトラクション開始時刻には気温30度を超える夏らしい天候の中、会場にはカメラやビデオを片手に多くの市民が集まり、リズムに合わせた手拍子や歓声があがるなど会場は熱気に包まれました。

## 4年ぶり開催「令和5年社会を明るくする運動芦別市民集会」

令和5年社会を明るくする運動芦別市民集会が7月13日、総合福祉センター大ホールで行われました。

7月1日から1か月間を強調月間として全国的に行われるこの運動は、犯罪や非行のない明るい社会を目指して毎年行われ73回目を数えます。「防犯都市宣言を推進する会・芦別

市」の主催により、コロナ禍で4年ぶりの市民集会開催となりました。

集会には、約120人の市民や関係者らが参加。芦別警察署刑事生活安全課長の水島典也さんが「振り込め詐欺-あなたの老後の資金がうばわれる-」をテーマに講演を行い、参加者は真剣に耳を傾けていました。

